

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、異業種交流活動を通して、持続可能な地域経済圏をつくり、夢と希望に満ちあふれた、元気な地域社会を目指します。

SEA

いわき経済同友会
IWAKI

三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

6・7月号/2022年6・7月1日発行

5月20日(金)
18:30～

5月通常例会

会 場 ワシントンホテル
椿山荘



演 題 世界情勢と日本

講 師 参議院議員 佐藤 正久氏

◆ 佐藤正久氏の活動について

- 日台与党外交・防衛政策責任者の会談の実現
外交関係がない政府間の政策実現につながるプラットフォームとして機能し、オーストラリア・ニュージーランドからもこの方式に高い関心が寄せられている。
- 総理大臣に台湾政策、人権外交を提言
日台関係のあり方について積み重ねた議論の成果を「外交部会・台湾政策検討プロジェクトチーム第一次提言」として、人権外交の具体的方向性についてを「わが国の人権外交のあり方検討プロジェクトチーム第一次提言」として総理に提言。
- 熱海市災害派遣現場視察
現場の実情・要望等を防衛省にも共有。
- 安保土地法制可決

自衛隊基地周辺や国境離島など安全保障上重要な土地の利用を規制する新法「重要土地等調査法案」の可決。

- 外務大臣に存外法人ワクチン接種申し入れ
海外在留邦人、外交・援助関係者等へのワクチン接種に関する決議について茂木外務大臣へ申し入れ。海外在留邦人への支援、海外に赴任・出張する外交・援助関係者への支援以外にも東京オリパラで訪日する要人接遇に従事する職員や中日外交団へのワクチン接種の支援の要請。
- 尖閣防衛強化の提言
中国が海警局に武器の使用を認めた「海警局」が施行されたことを受けて、領海内で退去の求めに従わず航行する外国船に海上保安庁が武器を使用できるように法改正すべきとの提言を官邸に提出。



例会写真



◆ 5月誕生月プレゼント



左から柴崎恒義さん(5月25日生)、鷲弘樹さん(5月14日生)、小野代表幹事、高原繁美さん(5月19日生)、波多野和茂さん(5月19日生)

5月グループ会報告

第1グループ会

■日 時 5月26日(木曜日)
■場 所 四川

コロナの状況が落ち着いてきたので、リアル会議での顔合わせを開催しました。出席者は14名でした。議題は、

- ①自己紹介
- ②今年度の事業計画と毎月のグループ会の担当決め(副グループ長)
- ③来月行われる担当例会の概要と役割について
- ④月曜日に行われるSEA WAVEの担当者決め
小松代表のフォローと副代表の意欲の高さで沢山の意見が飛び交い、大変盛り上がった会となりました。

第2グループ会

■日 時 5月25日(水曜日)
■場 所 タローズ・カフェ

年度初めの4月グループ会は、コロナ禍の影響によりZoomミーティングとなりましたが、今回は、感染症対策に配慮しながらのリアル会議を開催しました。(参加者12名) 主なグループ会議題は、

- ①参加者の自己紹介
- ②本年度のグループ会の活動内容について
- ③本年度のグループ会の開催予定について
和やかな会議を開催できました。参加者が積極的に議論に参加され、特に長谷川副代表、副グループ長のサポート力により楽しく充実したグループ会とな

りました。

当面の重点事項としては、①7月の担当例会について、②8月の「SDGs料理教室」の開催について準備を加速し対応いたします。

第3グループ会

■日 時 5月23日(月曜日)
■場 所 建設会館

下記の内容を行った。

- ①グループの会の方針等(再確認)
- ②参加者の会社のIT化の現状、課題、取り組みの発表、意見交換
- ③DX推進を進めるにあたっての人財育成(ITスキル)の重要性について
- ④DX関連キーワードの紹介
業種業態(飲食、建設土木、医療、製造、小売り、行政等)が違う中での、課題や取り組み状況が垣間見れ、活発な意見交換がなされた。
会議後、漁夫にて追加の意見交換を行った。

第4グループ会

■日 時 5月16日(月曜日)
■場 所 九品寺檀信徒会館

内 容：スマートシティに関する勉強会
講 師：いわき市総合政策部スマート社会推進課課長
松本 雄二郎 様
参加者：18名(オブザーバー9名)

6月通常例会

6月21日（火） 18:30～ 会場 いわき労働福祉会館

演題

特別支援学校の紹介と進路指導の取り組み ～障がい者雇用にむけて～

講師

福島県立いわき支援学校 進路指導主事 國田 顕應 氏



◆ 福島県の特別支援教育について

1 特別支援学校とは

- 視覚障がい
- 聴覚障がい ※聴覚支援学校平校（草野）
- 知的障がい ※いわき支援学校（上神谷）、くぼた校（窪田）
- 肢体障がい ※平支援学校（平窪）
- 病弱

2 福島県がめざす特別支援教育の理念

『地域で共に学び、共に生きる教育』の推進

◆ 福島県立いわき支援学校について

- ・通学制の特別支援学校
- ・昭和58年4月に開校
- ・高等部は平成3年に開校

◆ 福島県立いわき支援学校くぼた校について

- ・平成27年開校
- ・東北、北海道地区で初めての高等学校内の特別支援学校の分校

児童生徒数				高等部生徒数				
《令和4年度》				《令和4年度》				
小学部	中学部	高等部	合計	男子	1年	2年	3年	合計
92名	51名	97名	240名	男子	25名	16名	25名	66名
				女子	13名	12名	6名	31名
				合計	38名	28名	31名	97名

◆ 通学方法（高等部）

- ・公共の交通機関利用（JR・路線バス）

◆ 学校目標

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、生きる力を育み、社会の変化に主体的に対応できる人間を育てる。

○自ら考え学ぶ人 ○心ゆたかな人 ○じょうぶな人

◆ 学習内容

高等部の学習
【通常学級】
○各教科 国語・数学・理科・社会・職業 保健体育・家庭 選択教科（音楽・美術・情報）
○各教科等を合わせた指導 生活単元学習・作業学習
○総合的な探究の時間 OHR

高等部の学習
【重複障がい学級】
○各教科 国語・数学・体育・音楽 ○各教科等を合わせた指導 日常生活の指導・生活単元学習 作業学習・自立活動
○総合的な探究の時間 OHR

1週間のうち水・金曜日の午前中、作業学習がある。

進路に向けた学習
◆ 作業学習
◆ 産業現場等における実習

【作業学習】
◆ ねらい 職業生活や社会生活に必要な基礎的知識や技能、態度を養う。作業活動を中心とする実際の経験を通して、社会的自立に必要な事柄を総合的に学習する。
◆ 作業班 ・基礎作業班（1学年） ・リサイクルワーク班 ・ハンドワーク班 ・サービスワーク班
2・3学年

○基礎作業班（1学年）

主な学習内容

- ・外部委託作業（新聞紙バッグ制作）
- ・説明書等の封入作業
- ・緩衝材作り ・窯業班の型抜き 等

○リサイクルワーク班（2・3学年）

主な学習内容

- ・エコたわし作り ・くるみボタン作り
- ・紙すき 等

○ハンドワーク班（2・3学年）

主な学習内容

- ・さをり織り製品 ・レザークラフトの小物作り
- ・皿、カップ、器、小物作り 等

○サービスワーク班（2・3学年）

主な学習内容

- ・ビルクリーニング（清掃）
- ・オフィスワーク（事務）
- ・喫茶接遇（接客）

○産業現場等における実習（校外実習）

作業製品展示会販売会や福島県特別支援学校作業技能大会等も行っております。

高等部1学年	1/16～1/20（5日間）
高等部2学年	6/27～7/8（10日間） 11/21～12/2（9日間）
高等部3学年	5/30～6/10（10日間） 9/12～9/22（8日間）

- ◆ 生徒の実態に応じ、教師が付き添います。
- ◆ 交通費、賃金などの報酬はいただきません。
- ◆ 実習中は、インターンシップ保険に学校で加入します。
- ◆ 実習前には実習先担当者、保護者、本人、担当教員で事前打ち合わせを行います。
- ◆ 実習中は、担当教員が事業所を巡回指導を行います。

◆ 令和3年度卒業生の進路

一般企業6名、福祉サービス事業所20名

支援学校は現場実習先を探しています。ぜひご協力をお願いします。障がい者雇用をお考えの方は、ぜひお話を聞かせて下さい。

障がいがある、ないに関わらず、すべての人が助け合い、共に生きていく社会、共生社会の実現に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 6月誕生月プレゼント



左から今成俊克さん(6月4日生)、小野代表幹事

 由来：校歌の歌詞の「風と雲」にちなんで いわき支援学校(本校) 平・神谷 0246-34-3806	 由来：勿来の間に歌碑のある源義家にちなんで いわき支援学校(くぼた校) 勿来・窪田 0246-65-3155
 由来：校章の四つ葉をモチーフに 平支援学校 平・平窪 0246-24-2501	 由来：夜ノ森の桜の妖精 富岡支援学校(中学・高等部) 四倉 0246-32-7172



6月グループ会報告

第2グループ会

- 日時 6月22日(水曜日)
- 場所 Zoomミーティング

Zoomミーティングを開催し、担当する7月例会の開催と8月開催予定のグループ会の内容について議論しました。

また、8月のグループ会は常磐共同ガスさんのキッチンを利用させていただき、料理講師をお招きして「SDGs料理教室」を開催します。また、グループの親睦を深めるために納涼グループ会も開催する予定です。



第3グループ会

- 日時 6月28日(火曜日)
- 場所 漁夫三丁目店

「テレワークの知識を深める」をテーマに下記の内容を行った。

- ・背景 ・実態 ・各事業所での対応状況
- ・利点、問題点 ・技術的な背景
- ・キーワードのおさらい

第4グループ会

- 日時 6月30日(木曜日)
- 場所 専称寺

6月期第4グループ会
 専称寺の歴史、文化財修復と今後のまちづくり・観光などでの活用について。
 講師：専称寺住職 遠藤 弘道

いわき経済同友会
 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F 発行 いわき経済同友会 小野賢司代表幹事
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編集 情報委員会 委員長 松崎貴弘
 http://www.seaiwaki.jp 副委員長/遠藤慧毅・小野嘉子・坂本和久
 E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp 松尾幸治・宮野由美子